



14年3月に新消防緊急通信指令システムの運用を開始

平成13年度各会計決算を認定

決算特別委員会で詳細な審査行われる

駅西口地区再開発事業の進ちよく

議員 駅西口地区再開発事業の進ちよく状況について伺いたい。

ライナーホーム推進室長・都市整備課長 十三年度は、西口地区全体を再開

発事業として事業化できないかということで委託調査を行った。この委託調査の内容は計画の準備

現況調査、計画条件の検討、設計計画素案の作成並びに事業計画素案の作成、課題の整理の六項目

である。地権者と交渉を重ねてきたが、基本的合意に至っていない方が数

人いる。また、平塚駅西口地区再開発研究会を平成八年度から立ち上げて

おり、平成十三年度はアドバイザーを迎えて、まちづくり計画の研究を行った。

一般会計

議員 基本的合意が得られない地権者もいるとのことだが、今後どのように進めていくのか。

ライナーホーム推進室長 交渉を重ねた結果であり、一部の地権者にはやむをえないことであるが、基本的合意を得られている方々を中心に調整に入っている。優良建築物等整備事業、まちづくり支援事業の二つの制度を活用し、西口地区全体を再開発事業として整備していく考えである。

市民ＩＴ講習会事業受講状況と評価

議員 十三年度は、市民ＩＴ講習会が新規事業で実施されたが、受講状況とその評価を伺いたい。

情報システム課長 三九

九講座が開催され、定員が七九八〇人のところ、応募が一万二四〇人あり、一・二八倍の競争率であった。受講率は九五・一

%で、四〇代から六〇代の方々が多数を占めていた。なお、平成十四年度も規模は縮小したが、各

公民館で開催し、大変好評であったと聞いている。

消防署通信指令施設再整備による効果

議員 消防署通信指令施設整備事業として、二億

三九〇〇万円余を支出しているが、この導入効果について伺いたい。

参事兼消防総務課長 今

回の通信指令施設の再整備により、一一九番通報

から出動までの時間が大幅に短縮された。また、これにより指令担当の職員や出動する隊員の負担も軽減されている。

国保会計への繰出金大幅減額の理由

議員 一般会計から国民健康保険事業特別会計への繰出金が、十二年度と比較して大きく減っているが、その理由は。

保険年金課長 平成十二年度のこの繰出金の中には、国保財政安定化支援事業繰出金が含まれていた。この繰出金は国保加入者の年齢構成が高齢者に偏っていること、低所得者の加入割合が高いことなどから、一般会計から繰り入れできる法的根拠のある義務的経費である。平成十三年度はこの基準に達せず、国保財政安定化支援事業繰出金が国から支出されなかった。これが減額の主な理由である。

国民健康保険事業特別会計

議員 国民健康保険税についてだが、現年課税分で六億九七〇八万円余、滞納繰越分で一八億七五

八九万円余の未収額がある。これらの滞納者に対する収納対策はどのようなものか。

保険年金課長 収納率向上対策本部を設置し、効果的な国民健康保険税の徴収に努めている。具体的には滞納整理班を五人体制で組織化し、徴収嘱託員も含めて、月二回の

介護保険事業特別会計

議員 介護保険制度で利用できる特養、老健、医療の三施設の入所者数を聞きたい。また、特養ホームへの入所待機者数も併せて伺いたい。

高齢福祉・介護保険課上席課長代理 平成十四年

二月末現在の受給者は介護老人福祉施設(特養)

に大きく響いたと考えている。今後どうあるべきかを考えた場合、医療の機能の分化と連携が重要な要素と認識している。

議員 病院経営に対してどのような感覚で臨んでいるのか見解を伺いたい。

病院長・病院事務局長 市民病院は、市民のニーズにできるだけ沿うべきと考えているが、地方公営企業の性質上、公共の福祉増進に寄与すると同

経営の在り方ただし

議員 十三年度決算によると入院・通院患者数が減少し、未処理欠損金が三億四一六四万円余生じている。この決算状況をどう認識しているのか。

病院長 地方公営企業法にある、企業の経済性を十分に発揮するという部分では、努力が少なかつたのではないかと厳粛に受けとめている。病床利用率では、特に外科系が減っており、これが収益

いたい。

保険年金課長・保険年金課上席課長代理 平成十

三年度の減免申請は、一二三件で一〇九五万円余あった。その内訳は災害

が一件で三万円余、生活困窮が一五件で一〇七二万円余、減免の資格に該当しない申請が七件

である。なお、制度の周知については年間の納税額をお知らせする納税通知書の中で減免制度を紹介するとともに、広報ひらつかや納税相談の中でも周知に努めている。

決まっているが、利用割合はどれくらいなのか。平成十三年度については要支援が四一・二%、要介護一が三一・八%、要介護二が三六・〇%、要介護三が三七・九%、要介護四が三九・五%、要介護五が四〇・五%で全体としては三六・九%の利用割合であった。

時に、企業の経済性を発揮しなければならぬ。また、国の医療費削減政策により、十四年度は史上初めて診療報酬のマイナス改定もあった。このような医療を取り巻く厳しい状況の中、市民病院では経営改善のプログラムを策定し、取り組んでいるところである。特に、企業の経済性を発揮して公共の福祉に寄与するという原点に立ち、全職員に病院経営の改善について意識改革を求めているところである。

来院者用駐車場増設で混雑緩和は

議員 平成十三年度に来

院者用駐車場を拡大したが、駐車場の混雑解消は促進されたのか。

病院総務課長 十三年一

月に三四台分を拡大し、その後、隣接する場所

で七三台分が確保できた。したがって、五月の段階では三二〇台分の駐車場となった。これまで満車になったことはなく、入り口の混雑も今は解消されていると認識している。

議案等の審議結果

番 号	件 名	提 出 日	議 決 状 況
認 第1号	決算の認定について〔平成13年度平塚市一般会計・特別会計決算〕	14. 9. 3	14. 11. 26 賛成多数 認 定
〃 第2号	決算の認定について〔平成13年度中地区農業共済事務組合決算〕	〃	〃 〃 全 員 賛 成
〃 第3号	決算の認定について〔平成13年度平塚市病院事業決算〕	〃	〃 〃 〃
報告第14号	専決処分報告について	14. 11. 26	— 〃 〃
議案第73号	平塚市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	〃	14. 11. 26 全 員 賛 成 原 案 可 決
〃 第74号	平塚市情報公開条例	〃	14. 12. 18 賛 成 多 数 〃
〃 第75号	平塚市功労者表彰条例の一部を改正する条例	〃	〃 〃 全 員 賛 成
〃 第76号	平塚市市税条例の一部を改正する条例	〃	〃 〃 〃
〃 第77号	平塚市手数料条例の一部を改正する条例	〃	〃 〃 〃
〃 第78号	平塚市自転車競走実施条例の一部を改正する条例	〃	〃 〃 〃
〃 第79号	平塚市立幼稚園の保育料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃 〃 〃
〃 第80号	平塚市火災予防条例の一部を改正する条例	〃	〃 〃 〃
〃 第81号	委託契約の締結について	〃	〃 〃 賛 成 多 数
〃 第82号	住居表示に関する法律第3条第1項の規定による本市における市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	〃	〃 〃 全 員 賛 成
〃 第83号	平成14年度平塚市一般会計補正予算	〃	〃 〃 賛 成 多 数

番 号	件 名	提 出 日	議 決 状 況
議案第84号	平成14年度平塚市競輪事業特別会計補正予算	14. 11. 26	14. 12. 18 賛 成 多 数 原 案 可 決
〃 第85号	平成14年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	〃	〃 〃 全 員 賛 成
〃 第86号	平成14年度平塚市交通災害共済事業特別会計補正予算	〃	〃 〃 〃
〃 第87号	平成14年度平塚市老人保健医療事業特別会計補正予算	〃	〃 〃 〃
〃 第88号	平成14年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	〃	〃 〃 〃
〃 第89号	和解契約の締結について	14. 12. 10	〃 〃 〃
〃 第90号	平成14年度平塚市下水道事業特別会計補正予算	〃	〃 〃 〃
〃 第91号	人権擁護委員の推薦について	14. 12. 18	〃 〃 同 意

請願の審議結果

番 号	件 名	受 付 日	審 議 結 果
14年請願第15号	物価スライドの凍結解除による年金の減額をはじめ年金制度の改善に反対し、最低保障年金制度の創設を求める請願	14. 12. 4	14. 12. 18 継 続 審 査
〃 請願第16号	アメリカによるイラクへの先制攻撃反対の意見書についての請願	〃	〃 〃
〃 請願第17号	イラク攻撃に協力しないよう求める請願	〃	〃 〃
〃 請願第18号	中部電力浜岡原子力発電所の休止を求める請願	〃	〃 〃